

オプアウト

研究課題名	ロボット支援下腹腔鏡下脾動静脈温存尾側脾切除の短期成績についての後向き観察研究
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院 消化器外科部長 佐原 八束
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院 消化器外科部長 佐原 八束
研究期間	倫理委員会承認日～2026年9月5日
研究の目的と意義	脾動静脈温存脾体尾部切除（SVPDP）は脾良性・低悪性度腫瘍に対する機能温存術式であり、脾への生理的血流が維持されることで脾梗塞や胃静脈瘤のリスク低減が期待される。一方で脾動静脈周囲の剥離操作は高難度であり、出血や血管狭窄が課題である。近年、ロボット支援手術の導入により精緻な操作が可能となり、その有用性が注目されている。本研究では当院のロボット支援下腹腔鏡下脾動静脈温存尾側脾切除術の短期成績を明らかにすることを目的とした。
本研究の対象となる方	2022年4月1日から2026年3月31日の期間に当院でロボット支援下腹腔鏡下脾動静脈温存尾側脾切除術を受けた方
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、病理学的結果、検査情報、手術情報、術後在院日数、術後合併症情報 等
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理します。
問い合わせ先（拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 消化器外科部長 氏名：佐原 八束 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1－5 電話：048-852-1111